

LO

—あの日、夏の終わりに—

あの夏、ふたりでただただ繋がった。

それがひと夏の過ちだと、知っていたとしても—

あの日、夏の終わりに





結婚艦でありながら演習先の提督との浮気をいつまでもやめられない、流され系少女。



他所の艦娘に手を出すクズ系提督。
最初は出来心だったが、今では本気。
ダメだと思いつつもずぶずぶの関係に。



ねー次の演習いつからだっけ？

場所はいつものところ？

ごめんごめん

わたし秘書任務
ニガテでさー

わたしちやちやっと
ひとりで行ってくるから…

もう！秘書艦のしおいが
知らないのにろーちゃん
がわかるわけなんですって！

……

ろー…？

どうしたの？

しおい…なんかるーちゃんに…
ううん

提督にないしよに
してるコト…ないです？

えっ…
急になに？

だって…

あの鎮守府に演習に行つて
からしおいヘンですって

しおいしかもらつてない
ケツコン指輪だつてしてないし…
もしかして向こうの提督に…

その…

ろー

そんなわけないじゃん

心配しすぎだつて

なんて…

指輪はめ忘れるなんて…
さすがにまずかつたかな…

ん…

ん…

ん…

ん…

ん…



どした？
なんか考えてる？

ん…

なんでもない…

それよりここさ…
ほんとに大丈夫？

こんなところほとんど
誰もこねーって

ほとんどって…

もし見られたらっ…



大丈夫だって

たぶん…

たぶんって…
なにそれっ…！



とか言いつつしおいも
興奮してるくせに

うわっぐちよぐちよ…
早く入れてって感じ？

もおっ…

んっ…うっ…っ

今日の提督っ…ヘンだよ…っ

イジワルばっか…っ

いじめられるの
好きなくせに…

そうじゃなくてっ…

俺のちんこで気持ちよく
なってるしおい見てたらさ

はっ

はっ

それだめっ
空気入っっちゃう
からっ…

今だけは俺のモノ
なんだって思えて…っ

今だけ…

とかっ…

すげー興奮しちゃうんだよな…

おっ

はずかしっ

出さっ…

嗜虐心あおられるっ…か…



わたし…他所の鎮守府で
なにしてんだろ…

でもしようがないよね

あ…また出てる…

何回め…?

さあ…もう
わかんねーや…

だってこんなに…





ふいっ…今日も一日
がんばりましたっ

演習ありがとな
おつかれさん

水着の精液かびかびに
なっちゃって隠すの
大変だったんだから…

あーいうの
もうやめてよね！

はは
わりいわりい

だからお詫びに
背中流してやってんじゃん



じゃーすけべな事はなしで
奉仕してもらっちゃおうかな

はいはい



じゃー失礼して

んっ…もお！

だっからら…！！

普通に洗ってるだけ
ですけど…？

すけべなこと考えてるの
しおいの方じゃねーの？

ちよっ…

じゃあなんで手つきがっ…

ももも

もも

ひゃあっ





やっぱ提督の方がすげべだ

あー…ごめん

はは…

うわ…

もうこんなにおつきく
なってる…これ…
昼間入れてたんだよね…

ひん…

ひん…

…

あ…

ひん…

ぎん…

…部屋ですか？

あーあ…わたしまた…

なんでかな…

あー…ああ

…



あー...それ気持ちいい...

気持ちいい...

気持ちいい...

ん...む...
はあっ...こお...?

それぞれ...手と舌の
ダブル攻めいいね

てかこい
超いい眺め

しおいの膣内なか
まる見えだし
キレイなピンク

もおっ...説明しな
くていいからっ

にしてもお口でするのすげー
うまくなったよな

俺の教え方がよかったかな...つと

あはは!

なにそれっ...

あっ

俺もしおいの気持ちいいとこ
ぜんぶ知ってるけど



気持ちいい...

気持ちいい...

お口でするのが
うまくなつたんじゃないかと…

わたしも提督の気持ちいい
とこ覚えただけだよ

恥ずかしいから
言わないけど…っ

舌がっ…
それやべっ…!

今度は口の中で舌っ…

おちんちんびくびくしてきた…

あ…これそろそろ…

気持ちよすぎ…っ

あー…しおこ…っ

ん…





提督のせーえき
口の中いっぱい...

しおろっ...

飲んで...

のどっ...熱いのが...



あつっ...

し...

のがっ...



この味...カラダが
覚えちゃって...

だめっ...
反応しちゃう...

精液飲みこみながら
イってるとか...

しおいエロすぎ



そうだよね...こんな...
こんなカラダになっちゃうまで...

ねえ...もう入れていい...?

しおいからおねだりなんて
めずらしいじゃん

...だめ?

んーんむしろうれしー

このひと
わたし...提督と
しちやってるんだ...

イケナイことだっけわかってるのにな...

なのになんでかな...

ほんとどーしたんだろ

こんなつ...あつ...

一気に...っ!

今日どーしたの

入れられただけで...わたし...





自分からおねだりする
くらいに欲し
がってたくせに……っ
それと……止めて……

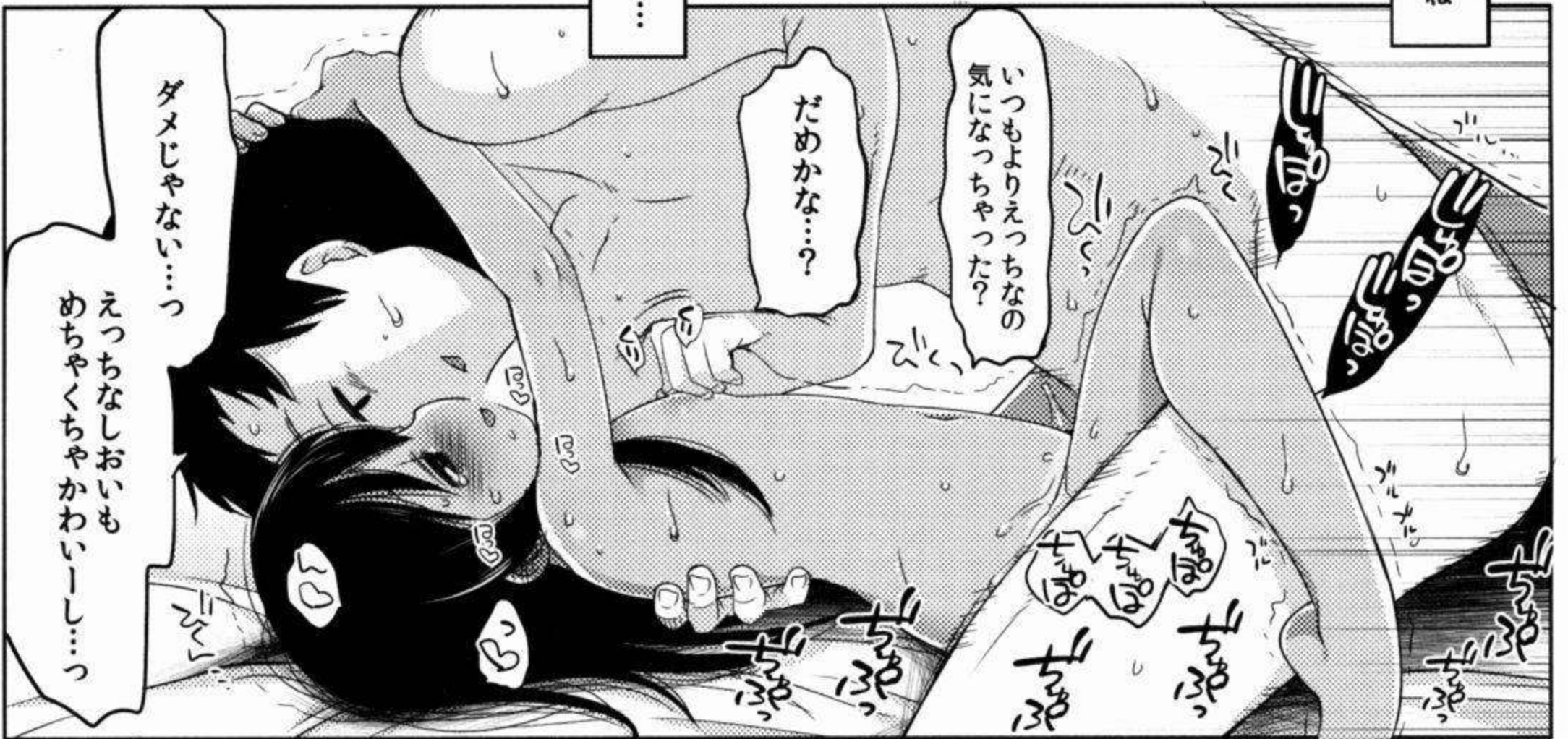
もおっ……さつきから
イキっぱなしなの……っ

知ってるくせに……

提督にはわかつちやうよね

だって……

そうだけども……
なんかいつもより……



いつもよりえつちなな
気になつちやうた？

だめかな……？

ダメじゃない……っ

えつちなしおいも
めちやくちやかわい……っ



提督がわたしのこと
好きなんだって……

こんなに
わかつちやうんだもん



こうやって繋がるたびに

カラダで感じるたびに



わたしだけだ…

全部ごまかして

わたしだけ…



このままじゃダメなんだって…

全部がダメになるって…
わかってるくせに…



よしと…

ほら出来たぞ

うん

ありがとう



髪結ぶといつもの
しおいて感じてだな

そう？

あー…ダメ…
なに考えてんだらわたし

ねえ提督

だからダメだってば

ん？

もうさ

ダメだっ…

ふたりでさ

どっか逃げちやおつか

あーあ…

やっちゃった…

ほらやっぱり

困った顔
させちやってるし

やばい

ちよつと…冗談だった！

ごめんね

本気にしちゃった？

あつこれ泣いちやう

ダメダメダメ

泣いたらダメなのに

だいたい逃げるなんて
どこ行けばいいのってカンジだよ

しおい

悪いのはわたしなのに

なのになんで…

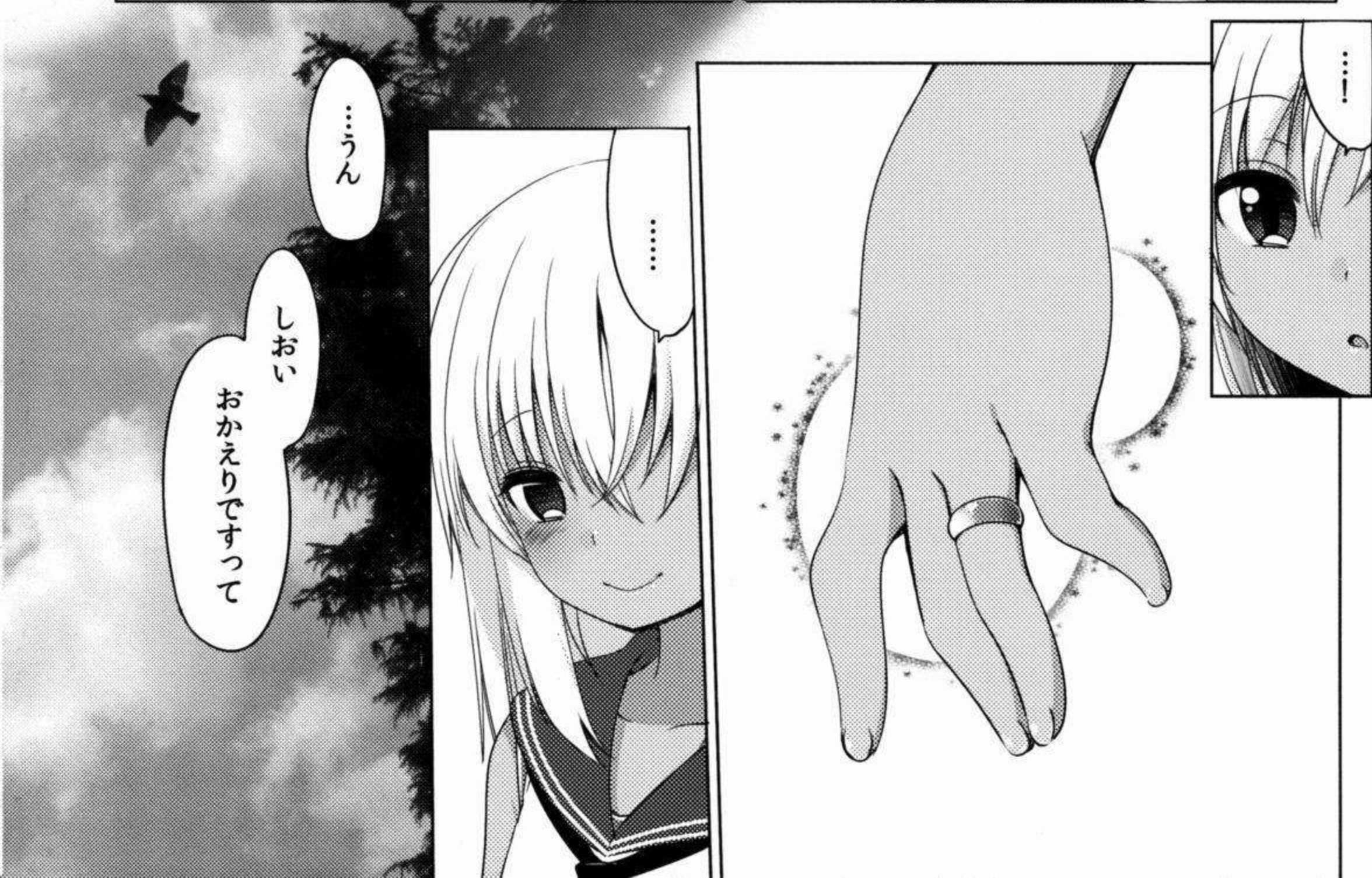
提督にはみんなを
まとめる責任つてのが…

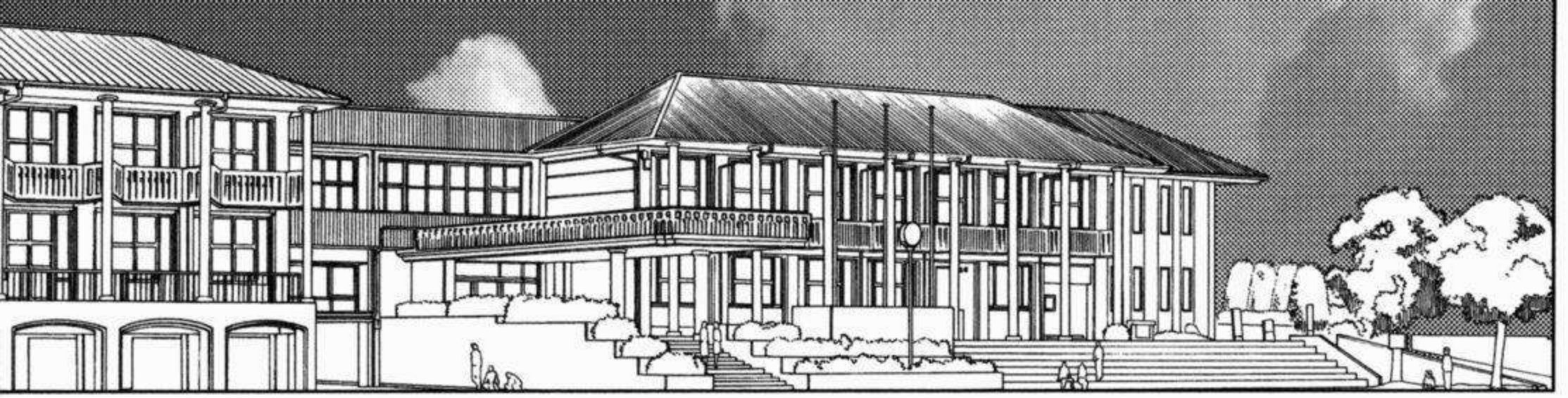
しおい！



あの日、夏の終わりに—


ぱんたーり





夏ももう終わりだなあ…

…



こんにちは、藤崎ひかりです。
しおいちゃん浮気ッक्स3部作これにて完結です。
オチについてはほんとーに最後まで悩みました。
浮気相手の提督の元へ走ってしまうのか、
それとも仲間とケッコン相手のいる鎮守府に戻るのか…
最終的には「ひと夏のあやまち」というテーマを
貫くにはこっちしかない、と思って決めました。
夏は短いからさ、きっとあんなに強く、
鮮明に心に焼きつくんでしょう。

このお話はこれで終わりはあるんですが、
冬コミでこのふたりの始まりのお話を描く予定です。
ケッコンしたてで、えっちなことも覚えてて、
そんな女の子になったばかりのしおいちゃんが
とーんと浮気沼に落ちてちる瞬間を、どうぞお楽しみに。

2015/03/16

発行：Frenchletter

藤崎ひかり <http://puchi.sana.pl.weblife.me/>

pixiv：81970

Twitter：pedori

印刷：サングループ

18歳未満の方の購読はご遠慮下さい



夏の匂いのする少女と過ごしたあの日
僕は、夏の終わりを信じなかった

French letter